

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	情報と職業		
英文授業科目名	Information and Vocation		
開講年度	2009年度	開講年次	3年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-上級講義		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	仲林 清		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
knaka@gray.plala.or.jp	

【主題および達成目標】
<p>(a) 主題：高等学校普通科「情報」の新設に伴い、従来の専門学校の専門教科「工業」の必修科目であった「職業指導」は、「情報と職業」に代わっている。「情報と職業」は、高校を卒業して就職する生徒への進路指導力の育成だけでなく、指導する立場の教師の情報化社会への適応力の育成も目指している。本科目では、このような背景から、情報化社会における職業のあり方について、技術面だけでなく、社会との関わり、人材の育成、国際化など幅広い側面から扱っていく。</p> <p>(b) 達成目標：教職を目指す学生が、高校生に対して、広い視野で国内外の情勢や科学技術に興味を抱いて情報化社会に参加できるように指導すると共に、自らも社会におけるITに関連した職業分野において、日進月歩の社会情勢・動向や科学技術の現状を認識して的確に判断・行動ができようになることを目指す。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
参考書・参考資料 駒谷昇一著 情報と職業（オーム社）

近藤勲編著 情報教育シリーズ「情報と職業」(丸善株式会社)

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容：

1. イントロダクション 情報化社会と職業について
2. 社会基盤としての情報システム
3. われわれの生活と情報化
4. 情報化とビジネス環境の変化
5. 企業での情報技術活用(1) 基幹システム
6. 企業での情報技術活用(2) 製造・サービスシステム
7. インターネットビジネス
8. 国際化と情報技術標準化
9. 情報化と法制度・モラル
10. 情報化とリスクマネジメント
11. 情報化時代の高等教育
12. 情報化と労働環境
13. 情報化時代の人材像
14. 予備
15. 試験

(b) 授業の進め方：

毎回、講義資料を配布する。また、関連するビデオなどを視聴し、それに関する質疑なども行う。

【授業時間外の学習(予習・復習等)】

授業内容に関する簡単なレポートおよびアンケートをWebを使って提出する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 成績評価方法：

期末試験(約50%)、授業出席(約20%)、授業レポートの内容(約30%)

(b) 評価基準：

- (1) 情報化社会における職業の特徴・特性を、利用者・運用者・開発者の立場で、情報倫理も含めて理解していること。
- (2) 10回以上の授業に出席し、レポートを提出すること。

【オフィスアワー：授業相談】

質問などは、講義の後、および、メールで受け付ける。

電気通信大学 平成21年度シラバス

【学生へのメッセージ】

情報と職業に関して、技術面だけでなく社会の中での位置づけについて、自分がこれからそのような立場になっていくのだ、という気持ちで学んでほしい。また、職業の現場においては、技術だけでなく仕事の枠組みや人との関わりが大きな役割を果たすことを学んでほしい。

【その他】

情報通信工学科、情報工学科、システム工学科および人間コミュニケーション学科の学生が高等学校教諭1種免許状（情報）を取得するにあたっては、この科目は必修である。